

殺菌剤

脂肪酸グリセリド・有機銅水和剤（フロアブル）

ビオネクト®

農林水産省登録 第21020号
性状：暗黄緑色水和性粘稠懸濁液体
毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
消防法：第4類第4石油類
有効年限：3年
包装：100ml水溶性内袋×60
500ml水溶性内袋×20

有効成分：脂肪酸グリセリド・・・55.0%
8-ヒドロキシキノリン銅（PRTR・1種）・・・30%
その他成分：界面活性剤・・・15.0%

ビオネクト®はサンケイ化学㈱の登録商標です。

特長

- 植物油脂の作用により、作物への有機銅の付着・浸透性を高め、残効性の向上が期待できます。
- 有機銅の有効成分量が従来より少ないので作物に付着する汚れが目立ちません。
- 水溶性袋を用いた製剤で、タンクに入れるだけなので、薬剤の調製が簡単です。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍率	10アール 当たり 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	脂肪酸グリセリドを 含む農薬の総使用回数	有機銅を含む農薬 の総使用回数
りんご	斑点落葉病 褐斑病、炭疽病 輪紋病 すす点病 すす斑病 黒星病	1000倍	200～ 700ℓ	収穫14日 前まで	4回以内	散布	—	7回以内 (塗布は3回以内、 散布は4回以内)
かき	炭疽病、落葉病 うどんこ病 すす点病				5回以内			8回以内 (塗布は3回以内、 散布は5回以内)
ぶどう	黒とう病 枝黴病 晚腐病	250～ 500倍		休眠期～開 花前	4回以内 (開花後は 1回以内)			4回以内 (開花後は 1回以内)
	べと病	1000～ 2000倍		収穫45日 前まで				
もも	縮葉病	500倍		発芽期～開 花直前まで 但し、収穫 60日前まで	5回以内			8回以内 (塗布は3回以内、 散布は5回以内)
いちご	炭疽病	600倍		100～ 300ℓ	育苗期			3回以内

使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- りんごに使用する場合は落花直後から、落花20日頃までの散布は、サビ果の発生を多くする場合はあるので避けてください。
- りんごは樹勢の弱い場合に連用散布すると生理落葉を助長する事例もあるので、通年連用は避け、3～4回にとどめることが望ましいです。特にゴールデン種では注意してください。
- ぶどうの生育期に使用する場合、果実肥大期（あすき粒大）以降の散布はサビ果や果房の汚れを生ずるおそれがあるので無袋栽培ではこの時期以降の散布は避けてください。
- 水和硫黄などの混用は薬害の恐れがあるのでさけてください。
- 発芽、展葉後は石灰硫黄合剤との混用は薬害のおそれがあるのでさけてください。
- 水溶性フィルム包装剤については下記の注意事項を守ってください。
 - 内袋はぬれた手で触れないでください。
 - 内袋はそのまま所定量の水に投入してください。
 - 外袋の開封後は使い切ることが望ましいです。
 - 水溶性フィルム包装剤は通常の取り扱いでは問題ないが、強い衝撃を与えたり、鋭利な物で突かないでください。
 - 万一外装内で内袋が破袋した場合は、全量を所定量の水に投入すれば問題ありません。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意してください。
- 水溶性フィルムで包装した製剤は湿気には十分注意してください。

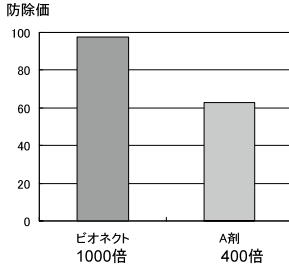
水産動植物に関する注意事項

- 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用は避けてください。
- 水産動植物(甲殻、藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

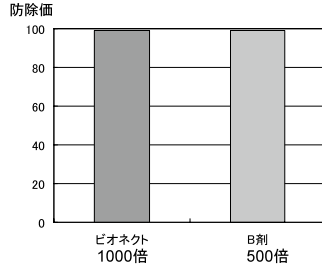
バイオネットの試験成績

かき病害に関する試験成績

炭疽病



角斑落葉病



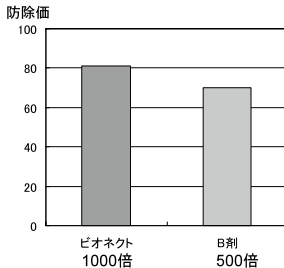
平成 13年度 落葉果樹農業連絡試験
滋賀県農業総合センター

品 種：富有(38年生、露地)
薬 剤 処 理：5/28, 6/15, 7/5, 8/2 の計4 回散布
散 布 水 量：20L/1樹
調 査：最終散布65 日後に観察
無処理の発病度8.6
無処理の発病率11.0%
薬害なし

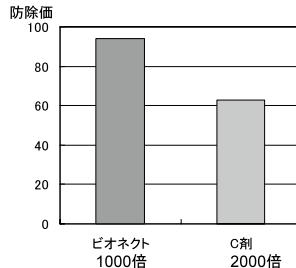
平成 14年度 落葉果樹農業連絡試験
和歌山県 植物防疫協会

品 種：富有(40年生、露地)
薬 剤 処 理：5/27, 6/11, 6/27の計3 回散布
散 布 水 量：十分量
調 査：最終散布73 日後に観察
無処理の発病度27.7
無処理の発病率82.3%
薬害なし

円星落葉病



うどんこ病



平成 13年度 落葉果樹農業連絡試験
新潟県農業総合研究所

品 種：平核無(22年生、露地)
薬 剤 処 理：6/7, 6/20, 7/2, 7/10 の計4 回散布
散 布 水 量：400L/10a
調 査：最終散布97 日後に観察
無処理の発病度48.5
無処理の発病率86.2%
薬害なし

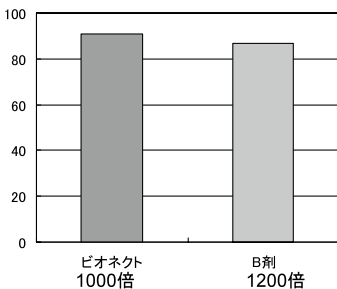
平成 15年度 落葉果樹農業連絡試験
愛媛県果樹試験場

品 種：愛宕早生(21年生、露地)
薬 剤 処 理：5/28, 7/2, 8/9, 9/12の計4回散布
散 布 水 量：15L/1樹
調 査：最終散布27日後に観察
無処理の発病度76.7
無処理の発病率100%
薬害なし

りんご病害に関する試験成績

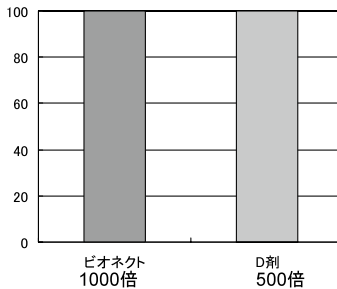
斑点落葉病

防除価



褐斑病

防除価



平成 13年度 寒冷地果樹農業連絡試験
岩手県植物防疫協会

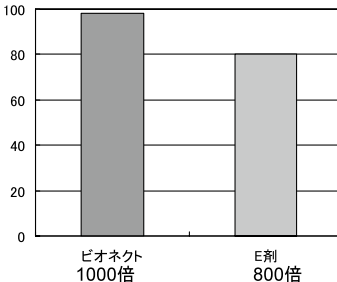
品 種：スターキング(6年生、露地)
薬 剤 処 理：7/2, 7/16, 7/29, 8/13, 8/27
の計5回散布
散 布 水 量：300L/10a
調 査：2001年9月7日観察
無処理の発病率23.3
無処理の発病葉率54.8%
薬害なし

平成 14年度 寒冷地果樹農業連絡試験
長野県果樹試験場

品 種：スターキング(24年生、露地)
薬 剤 処 理：5/28, 6/10, 6/24, 7/9, 7/23, 8/6,
8/23の計7回散布
散 布 水 量：十分量
調 査：2002年8月27日観察
無処理の発病率1.6%
薬害なし

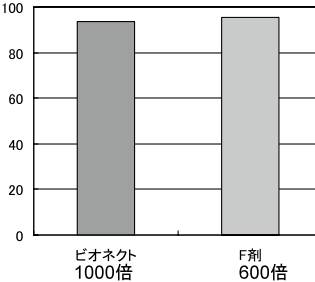
炭疽病

防除価



黒星病

防除価



平成 14年度 寒冷地果樹農業連絡試験
青森県りんご試験場

品 種：つがる(10年生、露地)
薬 剤 処 理：7/1, 7/15, 7/31, 8/16の計4回散布
散 布 水 量：10L/1樹
調 査：2002年9月6日観察
無処理の発病率82.2
薬害なし

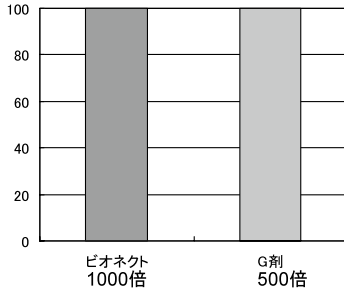
平成 15年度 寒冷地果樹農業連絡試験
青森県農林総合研究センター

品 種：ふじ(8年生、露地)
薬 剤 処 理：5/5, 5/15, 5/30, 6/16の計4回散布
散 布 水 量：7L/1樹
調 査：2003年7月2日観察
無処理の発病率9.1
薬害なし

りんご病害に関する試験成績

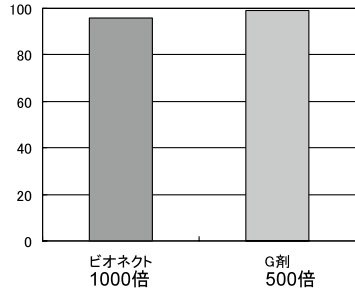
すす点病

防除価



すす斑病

防除価



平成 15年度 寒冷地果樹農業連絡試験
岩手県植物防疫協会

品 種：ふじ(15年生、露地)
薬 剤 処 理：6/30, 7/9, 7/24, 8/6, 8/20の計5回
散 布 水 量：散布
調 査：3L/1樹
2003年9月12日観察
無処理の発病果率2.1%
薬害なし

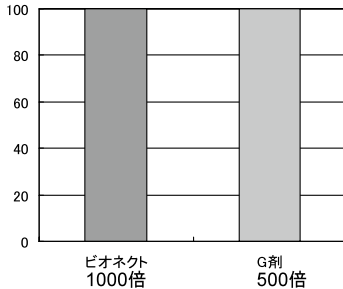
平成 15年度 寒冷地果樹農業連絡試験
岩手県植物防疫協会

品 種：ふじ(15年生、露地)
薬 剤 処 理：6/30, 7/9, 7/24, 8/6, 8/20の計5回
散 布 水 量：散布
調 査：3L/1樹
2003年9月12日観察
無処理の発病果率91.7%
薬害なし

ぶどう病害に関する試験成績

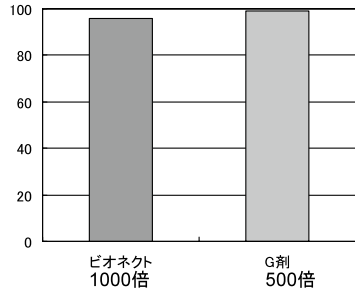
晩腐病

防除価



黒とう病

防除価



平成 15年度 落葉果樹農業連絡試験
秋田県果樹試験場

品 種：キャンベル・アーリー(45年生、露地)
薬 剤 処 理：4/22の1回散布
散 布 水 量：10L/1樹
調 査：2003年9月16日に観察
無処理の発病度26.6
無処理の発病果率75.3%
薬害なし

平成 11年度 落葉果樹農業連絡試験
大分県農業技術センター

品 種：巨峰(7年生、露地)
薬 剤 処 理：4/19, 4/26, 5/6の計3回散布
散 布 水 量：十分量
調 査：1999年6月8日に観察
無処理の発病葉率30.8%
薬害なし

水溶性パック入り包装の扱い方

バイオネクトの包装

- バイオネクトはオイルベースのフロアブルにすることにより、フロアブルでありながら水溶性のパック（内袋）化が可能となりました。
- 水溶性パックにすることで、薬液に触れずに薬液調製ができ、外袋には薬液は付着しないので廃棄が容易になりました。



バイオネクトの調製方法



1. 外袋(アルミ包装)の上部を切る

アルミの外袋の中には水溶性パックに入った液体の薬剤が入っています。外袋を切る際に水溶性パックを破らないように注意してください。



2. 水溶性パック(内袋)をタンクに投入する

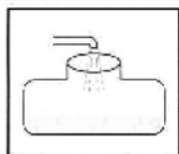
外袋を持ったまま、水溶性パックは破らずにタンクに投入してください。その際、水溶性パックには直接手を触れないでください。水溶性パックが破れる恐れがありますので、ぬれた手では決して水溶性パックをさわらないでください。



3. タンクを攪拌する

水溶性パックは水中で1分ほどで溶け始めます。水溶性パックが溶けても薬剤はタンク内に拡散しませんので必ず攪拌してください。

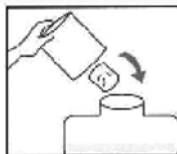
水溶性内袋の使用法



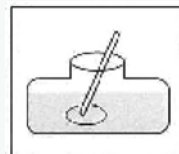
① 散布液調製タンクまたは調製容器に水を3分の1程度ためます。



② 外袋の上部を切り口から手などで切り取ります。



③ 外袋の底部を持ち、内袋をタンク内に投入します。
※内袋になるべく触らず投入してください。



④ よく攪拌しながらタンクまたは容器に水を満たしてください。

果実の汚れ

バイオネクトは汚れが少ない



バイオネクト 1000 倍処理



無処理



B 剤 500 倍処理



I 剤 1000 倍処理

汚れ軽減効果

他剤との同時防除を実施する際、汚れ軽減効果が期待される



バイオネクト (1000 倍) + J 剤 (1500 倍 : 殺虫剤) [展着剤無加用]



K 剤 (600 倍 : 殺菌剤) + J 剤 (1500 倍 : 殺虫剤) [ベタリン B 1250 倍加用]

作物名 : かき(次郎柿)
散布月日 : 2007年6月1日
散布場所 : 静岡県浜松市